

◇講演4 上田 実 先生 (名古屋大学名誉教授 乳歯歯髄幹細胞研究・再生医療)

テーマ：一再生医療はアンチエイジングにどこまで貢献するかー



上田先生は「今の国や学会では、救命型でなければ再生医療をしてはいけないというスタンスであり、美容や毛髪、アンチエイジング（老化病）には貢献していません。がんや糖尿病、心筋梗塞、アルツハイマーも老化病とい

えるわけで、アンチエイジングという言葉を手前に利用すれば、貢献できる余地があります。今後は実用医療にしていこうと考えています」と話しました。

また、新しい再生医療の考え方についても、教えていただきました。幹細胞移植ではなく、幹細胞の作っているタンパク（培養上清）で再生医療を行なうというもので、効果は同じ、リスクは低くコストも安いという特徴があるそうです。現在、上田先生は育毛剤、性ホルモンについて研究中で、毛髪についてはもう少し経つと発表できるとのことでした。そして、再生医療とは新しいブレイクスルーと共に、アンチエイジングに貢献することと結論づけました。



◇講演5 櫻井よしこ先生 (ジャーナリスト)

テーマ：一今私たちが出来ることは何かー



毎回講演されておなじみの櫻井よしこ先生は「皆さん、こんにちは」と、笑顔で颯爽と登壇。今世界で起きている大きな変化のなかで、私たちの国が立派に生き残ることができるように、具体的に何をしたらよいかをお話しいただきました。最初は米朝会談が話題の北朝鮮問題です。「北朝鮮の非核化」と「朝鮮半島の非核化」について、大きな違いがあることを解説しました。

◇講演6 渡邊剛先生（心臓外科医・ロボット外科医・医学博士・ニューハート・ワタナベ国際病院総長）

テーマ：一患者さんをおどろかせた心臓手術ー

テレビドラマ“ブラックペアン”を監修する渡邊先生。手術支援ロボット・ダビンチ



での手術の翌日、痛みもなく自由に歩けることに驚いた患者さんの感想を披露しました。ダビンチの優れている点を、切開部が最小限であるため、執刀での出血が少なく合併症はほとんどない、患部を拡大できるので正確・精緻、早期社会復帰

ができるなどを挙げました。人工心肺を使用せず、胸骨正中切開をしない心臓外科手術をダビンチで行うという研究を 13年前に始め、体にやさしい手術が可能になりました。この優しい手術を低侵襲手術というそうです。200年前からの手術の変遷や、ロボットの歴史、ダビンチの進化も紹介しました。

今年4月からロボット支援内視鏡手術12件が保険適用になり、一般医療になりつつあるそうです。ダビンチに限らず、ロボットが実生活に入って来る日は近く、ロボットを友だちとして仕事をしていくことになるでしょうと結びました。



#### ◇まとめ 山崎光信理事長

山崎理事長は「上田先生の講演で、再生医療は美容に応用できるものがたくさんあるというお話を聞かせていただいたことほか2日間の講演で、先代が“医学の裾まで弱酸性美容はある”と申していたように、弱酸性美容法は医学に近づいている感じがしています」と感想を述べました。そして、美容の価値観をつくるのは美容師の役目であり、弱酸性美容室とアルカリ美容室との差別化をはっきりと線引きできるサロンづくりをしていくことを強調しました。

#### ◇閉会の辞 佐藤進副理事長

「2日間で学んだことをサロンのお客さまに情報として、また来場できなかった会員やスタッフにもお話ししてください」と閉会のあいさつを行いました。

2日目終了 16:10分